

↑ 大きさ 9 ポイント

※1 ページ目のみ紀要掲載号
及びページ数を記載する

8 mm

25 mm

室蘭工業大学自己点検・評価報告書

↑ 大きさ 18 ポイント

水元 太郎*1, 高砂 次郎*1, 中島 花子*2

↑ 大きさ 11 ポイント

(原稿受付日 平成 27 年 10 月 日 論文受理日 平成 28 年 1 月 日)

↑ 大きさ 11 ポイント

目安
110 mm

※中央揃え

Muroran Institute of Technology Research

↑ 大きさ 18 ポイント

Taroh MIZUMOTO, Jiroh TAKASAGO and Hanako NAKAJIMA

↑ 大きさ 11 ポイント

(Received ○th October 2015, Accepted ○th January 2016)

↑ 大きさ 11 ポイント

Abstract

Simple closed-form expressions are derived for the statistically-averaged spectral
Produced by multiple scattering from spatially random media within the accuracy of the second-order
Boen and the Rytov approximations. #####. These physical pictures of the above two methods serve
to provide an intuitive insight into the involved phenomena of multiple light scattering from random
media.

Keywords : Scattering, Rytov approximation, Random media, Spectral change

← 大きさ 9 ポイント
150 語以内を目安

20 mm

20 mm

10 mm

10 mm

↓ 罫線

本文 大きさ 10 ポイント

○ = 空白行
□ = スペース
行送りと字送りはそれぞれ
15 ポイント、10.95 ポ
イントを目安

1 はじめに

← 大きさ 10 ポイント
強調文字

20 mm

□ 室蘭工業大学では、平成 4 年度から自己点検・評価を実施しているが、平成 9 年度からはテーマを絞
り、自己点検・評価を実施している。

2 概要

2.1 □ 教養教育

2.1.1 □ 教養教育に関する考え方

□ 室蘭工業大学の学則⁽¹⁾は、「高度の工業知識及び技術の教授」及び「高い知性と豊かな教養を備えた有
能な人物の養成」の二つを、学部教育の目標として謳っている。すなわち、室蘭工業大学では、工学・
科学技術に関する専門教育と、いわゆる教養教育を学部教育の二つの柱⁽²⁾として位置付けている。

□ この二つの柱を、室蘭工業大学では、「主専門教育課程」と「副専門教育課程」という二つの教育課程
で具体化している。*****は式 (1) で表され、*****

□ *1 附属図書館

□ *2 室蘭**株式会社

↑ 罫線

↑ 大きさ 9 ポイント
行間 10 ポイント

25 mm

ページ数 →
大きさ 12 ポイント

25

15 mm

20 mm

※中央揃え
偶数ページは著者名、
奇数ページは表題を記載する

****は式(2)で表される。

○

$r(t) = ji/N$ (1)

$\bar{C}(t) = \frac{1}{N} \sum_{i=1}^N C_i(t)$ (2)

○

これは、現代社会において工学系大学卒業者に*****

○

$W_{th} = Q_2 \frac{\Delta T_0}{T_0 + \Delta T_0} = GL_0 \frac{\Delta T_0}{T_0} \frac{T_0 + \Delta T_0}{T_0} \left\{ \alpha^* - \frac{C_p \Delta T_0}{L_0} \left(\frac{T_0}{T_0 + \Delta T_0} \right)^2 \right\}$ (4)

○

表1 各コースの第一志望者数と最終分属者数

コース	第一志望者数	最終分属者数	増減
数 理 科 学	87	102	+15
生命環境科学	117	132	+15
社 会 科 学	71	102	+31
計	532	586	+54

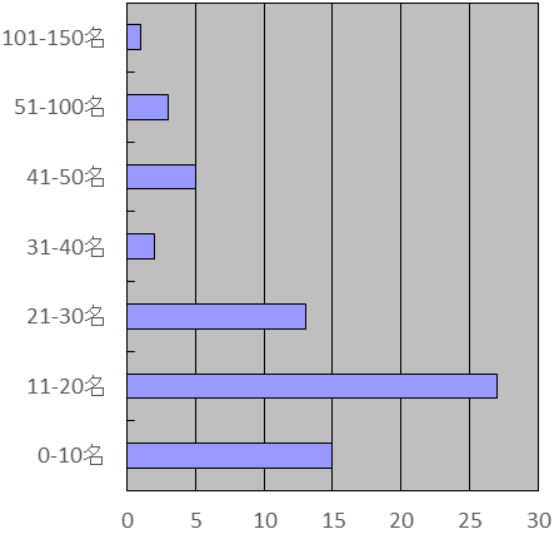


図2 プレゼミの受講者数

○

*****。

○

5 変遷及び今後の方向

○

平成4年度までの室蘭工業大学の教育課程は、*****
*****である。

○

謝辞

○

本報告書を作成するにあたり、****氏には貴重なご討論、ご指導を賜った。謝意を表する。

○

文献 大きさ9ポイント

○

(1) 登別太郎, 伊達次郎, 室蘭工業大学の現状と課題, 大学改革シリーズ, 5巻4号, 1997, p256-300
(2) T. Shirai, Spectral Change of Light Included from Random Media, J. Opt. Soc. Am., A-12-6, 1996, 1354-1357.